



観光事業者に特化した CO2排出量可視化システム

脱炭素経営に向けてどう取り組んでいけばいいの？

- ✔ 脱炭素への取組の必要性は分かるが、まず何からすればいいのか…
- ✔ CO2排出量を算出したいが、専門家に依頼すると高そう…
- ✔ 節電はしているが、実際どれぐらいの効果があるか分からない…

Decarbonising Tourism System (DeTS) は

簡単にCO2排出量を算出することができます

STEP 1



勘定科目読込
テンプレート入力

STEP 2



会計データ
テンプレート入力

STEP 3



テンプレート
CSVをアップロード

主なサービス内容

- 会計データ項目 (TOP6) のCO2排出量算出
- 事業活動によるCO2排出量算出
- 業界平均と自社のCO2排出量比較
- 過去5年間のCO2排出量算出比較
- 最新登録の月毎のCO2排出量算出
- CO2削減に向けての取組事例 (2023.12公開予定)

DeTSは「環進帳」を基本ベースとして開発しています。

そのため、CO2排出量算出方法、使用している原単位、妥当性の確認等は「環進帳」と同様のシステムです。

「環進帳」について

✓ バックキャストテクノロジー総合研究所が開発したクラウドサービス

脱炭素経営の実現に向けて企業等の取り組みを支援するためにCO2排出量を算出するWEBシステム「エコサステナ・環進帳」を開発し2021.12.16リリースしました。



✓ CO2排出量を会計情報と紐づけて自動算出できる唯一のツール

使い慣れている会計ソフトから総勘定元帳を紐づけてアップロード & 自動読込し、CO2排出量を算出します。※特許取得済み（特許第6864404号 特許第6896315号）金額だけではなく、物量でもCO2排出量を算出可能です。



✓ 使用している原単位は産業連関表による環境負荷データブック（3EID）

環境省の「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.3.1）」に基づく直近の係数を使用しています。電気やガス、燃料などは、契約先の事業者やプランの排出係数を入力することも可能です。



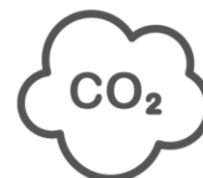
✓ ISO14064-3:2019を参考に第3者より妥当性の確認を受けている

2022年6月にISO14064-3:2019を参考に、SGS ジャパン株式会社より妥当性の確認を受けました。これは、GHG プロトコルに基づいて、適切にCO2排出量が算定・出力されるものとして設計されていることを示します。



✓ 環進帳の算出範囲はScope1/2およびScope3（上流）

スコープ1、2については会計情報もしくは数量データからCO2算定が可能です。スコープ3については、会計情報からサプライチェーンの上流部分のCO2排出の算定が可能となっています。



〔環進帳の特徴〕

- CO2排出量を同業他社と比較
- CO2 /コスト削減目標の想定値を表示
- 補助金獲得に必要な炭素生産性を算出
- CO2排出量削減のためのSDGs事例を検索・参照
- CO2の削減手段を、コスト・CO2の両面からシュミレーション



引用：バックキャストテクノロジー総合研究所HP
<https://bct2050.com/>

2023.6.10 Ver.2

DeTSの特徴

設定と会計データをテンプレート化している

ダウンロードした「勘定科目読込テンプレート」と「会計データ入力テンプレート」に勘定科目や金額を入力・変換してアップロードするだけなので、簡単にCO2排出量算出のためのデータが取り込めます。



ボタンひとつでテンプレートをCSVに変換

アップロードするためのデータを入力したら、「CSVファイル作成」ボタンを押すと自動的にCSVファイルを作成してくれます。



観光事業者用の科目に特化している

環進帳で設定されている科目に加えて、観光事業者の皆様が利用する科目を追加しています。一例ですと、「食材」「リネン」「洗車」「アメニティ（消耗品）」「わりばし（消耗品）」等が追加されています。



利用者一人当たりのCO2排出量を表記している

年間のCO2総排出量を算出した後、登録した総利用者人数で割ることで一人当たりのCO2排出量（kg）を算出することができます。



2013年比で直近5年間のCO2排出量の比較が可能

カーボンニュートラル宣言は、2013年比で2050年までにカーボンニュートラルを目指すものです。2013年の会計データを入力した場合は、常に比較グラフに2013年のCO2排出量が表示されます。



DeTSは、まずはCO2を可視化していただき、次のSTEPである具体的な削減をシステムを使用して自走化できるようにバージョンアップしていきます。



DeTS料金プラン

	DeTS	DeTS-Pro (仮称)
データ入力方法	テンプレート入力 (CSVファイル読込)	
CO2排出量表示	会計データ項目毎、事業活動内容毎、業界平均比較 年間比較 (2013年+5年間)、月別比較	
CO2・コスト 削減検討	—	CO2/コスト削減量の概算、 最適解分析、 炭素生産性の算出
利用期日	2023年9月1日～	未定
料金※ (年額・税別)	5万円 (1アカウント) *	20万円 (予定) (1アカウント) *

*ひとつの運営施設につき1アカウントとなります。複数の運営施設をひとつのアカウントで運用することはできません。

*アカウント数による割引があります (10%～) 別途、お見積りをご提出いたします。

DeTSのセキュリティ

〈セキュリティ〉

ISO27001/ISMS、ISO/IEC 27017、JIS Q 15001 : 2017、PCI DSS等の認証を受けている

国内のレンタルサーバー (SAKURA internet) を使用しています。

また、お客様がインポートするデータは保存しておらず、お客様が設定した抽出データはいつでも削除できる機能を保有しております。

〈アクセス管理〉

管理者であるバックキャストテクノロジー総合研究所のみがデータにアクセス可能です。

また、DeTS利用のパスワードはお客様が設定し、管理するシステムです。

6か月毎にパスワード変更依頼通知が送信される機能を有しております。

〈第三者への開示〉

機密情報については、バックキャストテクノロジー総合研究所の定める「機密情報の取扱いに関する運用規定」に従って取り扱い、厳に秘密を保持するものとし、本システムの提供に当たって必要となる委託先を除き、お客様の事前の承諾を得ることなく第三者に対して開示いたしません。

運営会社

(システム運営会社)

バックキャストテクノロジー総合研究所

(DeTSコールセンター運営会社)

東武トップツアーズ株式会社